

令和4年7月21日

昭和四日市石油(株) 環境安全課長殿、操油課長殿
出光興産(株) 安全品質管理課殿
陸運安全協力会 幹事各位

昭和四日市石油(株)四日市製油所
陸運安全協力会



7月度 幹事会(会議録)

1. 日時 令和4年7月21日(木) 9:00～
2. 場所 昭和四日市石油(株) 塩浜クラブとWEB
3. 出席者 15名(敬称略)
昭四：森重環境安全部長(WEB)渡辺環境安全課長(WEB)、西川操油課長(塩浜クラブ)
南川操油課長代理(WEB)、平野安全管理推進者(塩浜クラブ)
木場陸上操油係長(塩浜クラブ)、杉本陸上操油係長代理(WEB)
出光：欠席
幹事・事務局(敬称略)
昭永工業(岩野、河合(塩浜クラブ)、伊藤(WEB))
日本通運 森(WEB)、池畑運送 佐藤(WEB)、日本石油輸送 馬上(WEB)
昭豊運輸 福田(WEB)、事務局 新堂(塩浜クラブ)

4. 議事

議事に先立ち、岩野会長、森重環境安全部長より挨拶がありました。

【岩野会長】

現在、コロナ禍で活動が計画通りにできず残念な状況です。本日はWEB開催となっています。陸運関係では積場での労災、積込事故等は以前より減少してきていますが、LA油種間違いなど早急に是正しなければならない事案もありますので、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

【森重環境安全部長】

今回初めて幹事会に出席致しますので、宜しくお願いします。7月1日出光本社より大同前環境安全部長の後任として着任いたしました。

ローリー積場では、ローディングアーム油種間違いやオーバーフローなどのトラブルもあるようです。安全に関する事案には丁寧に取り組んで頂き、発生原因を突き止めて安全・安定操業に努めて頂くようお願い致します。

4.1 陸運安全協力会 令和4年度 後期会費徴収の可否について

配布資料に従って、会長より説明があり、異議なく令和4年度下半期の会費を免除することに決定しました。

4.2 油種間違い防止強調月間パトロールの結果

配布資料に従って、会長より説明があった。

(1) LA油種間違いの件数について2021年と2022年上半期を比較した。

- ① 2021年にLA油種間違いが発生した会社は、30社であり、この30社で白油の積込車両数は、全体の91%を占めている。
- ② 2021年にLA油種間違いが発生した会社は、30社であり、この30社で白油の積込車両数は、全体の91%を占めている。
- ③ 2021年にLA油種間違いが発生した会社は、30社であり、この30社で白油の積込車両数は、全体の91%を占めている。

- ④ 全社平均では、1000台あたり 0.49台 LA油種間違いが発生し、前年比では、40%減少する見込みである。

(2) LA油種間違いの改善状況（2021年と2022年上半期の比較）

- ① 2021年にLA油種間違いがあった会社で、2022年上半期ではゼロ件(改善率100%)となった会社は、19社である。
- ② 2022年の方が、件数が増えると予想される会社(改善率がマイナス および悪化の会社)は、7社であり、全社的な取り組みが必要である。

(3) 油種間違い防止 3点確認 強調月間

- ① 2022年3月から5月 3点確認パトロール を417車に実施した。3点確認が行われていたのは314車(75.3%)であった。
- ② 白油の年間積込台数は、97,100台程度なので、2022年1月から6月の積込みで3点確認を行っていない台数は、 $97100 \times 0.5 \times 0.247 = 11,991$ 台となる。1月から6月にLA油種間違いは24件発生したので、1000台当たりの2.0件の油種間違いが発生したことになる。
つまり、3点確認を行わないで積込をすると500回に1回程度の高い頻度でLA油種間違いを起こしてしまうことになる。

(4) 今後の取組み

- ① 運行管理者が中心となった全社的な取組みの推進
LA油種間違いは、品質事故に直結する重大な誤操作であることを全員が再度認識して下さい。
- ② 3点確認説明の動画改定
- ③ これまでの経緯をふまえて3点確認説明動画を改定したので、各社の社内教育用にご活用をお願いします。

3点確認説明動画

URL : http://www.rikuun.info/video/yushu_kakunin2.mp4

QRコード



4.3 連絡事項（昭四殿、事務局）

【西川操油課長より】

平素は、陸上ローリーの安全荷役にご協力を頂きありがとうございます。

先ほど会長より、ローディングアーム油種間違いの解析結果の報告がありましたが、油種間違いは、コンタミが発生の原因となり、お客様にご迷惑をおかけすることになるので、再度認識頂いて油種間違いの撲滅にご協力をお願いします。

7月14日にレターでお願いした事項について、木場係長から再度ご説明いたします。

【木場操油課長代理より】

それでは、以下について説明いたします。

① LA 油種間違いの件

品質トラブル防止対策としてシステム改造を実施し次に記載する項目の運用が変更となっています。油種間違い発生時にシステム改造前は、重故障扱いでは無いため、積込を継続できましたが、改造し重故障扱いとしましたので、積込ポイントの全停止となり積込作業が施設係員の確認および異常解除をおこなわない限り継続できなくなりました。

2022年になって件数は減少傾向でしたが、6月からペナルティ軽減を始めたらまた件数が増加しています。増加傾向が続くようなら、ペナルティについても考え直す可能性があります。

② ローディングアーム滞油対策の件

L/A(ローディングアーム)内の滞油対策としてシステム改造をおこない、二段開閉バルブが閉止し、15秒経過後にMFD(積場表示機)状態表示が出荷中から積込完了に変化します。MFDの数量がゼロになっても状態表示が【積込完了】になるまでは、L/Aとシャッドオフバルブの操作をおこなわない様をお願いします。(15秒の間でバキュームブレーカーによりAIRを吸い込みL/A滞油をハッチ内に落としています。)

③ L/A 受け缶の油の取扱いについて

品質管理の徹底をおこなうために廃油処理BOXの設置をおこないました。前ローリー積込時に受缶に溜まっている油については、水分、異物などある可能性があり品質保証ができないものになります。前ローリー積込時に受缶に溜まった油は、必ず廃油BOXへの処理をおこなう様をお願いします。自積込時に受缶に溜まった油についてはハッチ内への処理をおこなっても問題ありませんが、受缶内に溜まった油に異物など無いか確認してから処理をおこなう様をお願いします。異物などある場合は、必ず廃油BOXへの処理をお願いします。

④ 過積載の防止の件

2022年4月よりEXT-4、EXT-4S、SUL、WAX、液化炭酸ガスについてシステムにて過積載判定をおこなう様に改定し、過積載時には荷卸しが必要となっています。また、2022年6月より、ST-AS、BL-ASについてもシステムにて過積載判定をおこない過積載の判定をおこなう様に改定していますが、ST-AS、BL-ASについては過積載になった合でも荷卸し対象とはしていません。(荷卸し方法について協議中のため)

ST-AS、BL-AS積込方法が2023年4月頃から流量計制御での積込をおこなう様に積場改造予定でしたが、半導体供給不足で計装機器の納期が4年程かかる現状です。計装機器の納品目途が立ち次第の工事となるので流量計制御積込は延期となります。(工事期間など決定次第、案内文書にて通知をおこないます。)

システム計算②では車両総重量より-110Kg減算した重量と実車重量を比較して過積載の判定をおこなっていますので運送会社より減算し過ぎとの意見もあり、陸上操油がシステムで過積載判定されたローリーについては再計算を実施する運用をおこないます。再計算時の乗務員体重は60Kgでおこないます。再計算の結果、過積載ではないと認められたら伝票を発行します。尚、EXT-4、EXT-4S、SUL、WAX、液化炭酸ガスの油種については再計算で過積載判定になった場合は荷卸しをおこないます。ST-AS、BL-ASについては陸上操油と運送会社で協議をおこな

い対応を決めますので協議が終了するまでは出構できません。

システム②計算・・・最大積載量(車検証)+標準空車重量(車検証)< 実車計測値

※車両総重量 = 最大積載量(車検証)+標準空車重量(車検証)+乗務員 2 名体重(110Kg)

⑤ 1号道路踏切舗装工事の件

2022年9月~10月頃(工事日は、協議中)に踏切舗装の大規模補修をおこないます。補修期間は約3日間を予定しています。(金曜日 PM15時~月曜日 AM4:00を予定)また、補修期間中は入門・出門窓口へのローリー進入ができませんので待機場にローリーを停車させ陸上出荷センター内での受付・出門処理となります。尚、入門・出門動線も大幅に変わります。補修工事の工程が決定後、陸運安全協力会を通じ案内文書を送信すると、陸上出荷センター受付にて乗務員へビラを配布します。(乗務員へのビラ配布は、工事開始3日前より配布します)

⑥ 混載積場屋根補修の件

雨漏りが多数発生し積込に際しご迷惑をおかけしております。

屋根補修をおこなう施工会社が決定しましたので、補修工事が始まります。(工事期間は調整中)

補修中は3~4ポイントを9時~17時まで停止し補修工事をおこないます。

補修期間中出荷ポイントが減少しますので、ご協力をお願いします。

【事務局より】

4月から6月のパトロール結果と事業結果報告が、新堂事務局長よりありました。

以上